



海辺・川辺調査レポート

※このフォームをご利用いただくか、ご自分で作成していただいても構いません。

| | |
|-------------------|-----------------------|
| ■ 名 前 (ふりがな) | 中野 恩 |
| ■ グループ名 | |
| ■ 学校名 | 寄島町立寄島小学校 |
| ■ 学 年 | 6 年 |
| ■ 年 齢 | 1 2 歳 |
| ■ お手伝いしていただいた方の名前 | インタビューした人 父 母 祖母 祖父 姉 |

| | |
|------------|--|
| ■ レポートした場所 | 岡山県浅口郡寄島町の東安倉海岸・三郎干拓 |
| ■ レポートの題名 | 生き返れ、寄島の海 |
| ■ 内 容 | <p>海について調べようと思ったきっかけは、おじいちゃんに、「海に行こう。」と言ったら「今は、きたないからなあ。」と口ぐせのように言うので、昔の海と今の海について調べようと思ったのでした。</p> <p>おじいちゃんに聞くと、昔は、オオアサリやイタヤガイ、サザエ、ニシ、ドブガイ、タバコニシ、カラスガイ、などがたくさんいたそうです。</p> <p>お母さんに聞くと、今は水が透明じゃなくなり、排水口から、あわがいっぱい出てくるようになったそうです。他にも、海にごみがたくさん捨てられるようになったそうです。でも、下水道が出来てだいぶきれいになってきたということです。</p> <p>お姉ちゃんに聞くと、今は、漁業などをしたりするだけで、海では、他には、ほとんどなにもしないそうです。</p> <p>私は海は何でよごれているか、どうやってよごれてきたのかを、大人の人達から聞いて、水島工業地帯ができたことや、排水が出てくるようになって、よごれたことを知り、びっくりしました。</p> <p>他にも、人が捨てたごみや、干拓して水の流れが変わったり、水の生き物の住みかが少なくなり、種類や数が減ったことが分かり、悲しくなりました。</p> <p>でもそう思うと、下水道や浄水場のしくみは、とてもすごいことがわかりました。今度からは、水をととても大切にしていきたいと思います。また、出来れば場所と時期を決め、水質の検査をしたいです。ごみ拾いボランティアを進めたいです。</p> |

美しい海を生き返らせ、寄島の海を、守りながら海の自然を楽しみたいと思います。

■ 写 真 名 前 _____

※写真や資料で、自分のもの以外を使用する場合は、必ず、何の資料か、誰の写真かなど、連絡先や住所などをメモして保存しておいてください。公表する際に、必要となります。

※本文（内容）と写真は、セットとして、メールで送信するか、郵送してください。

※この用紙以外でも構いません。

① 干拓してないころ

約150年余15の塩戸がそれぞれの釜屋で製塩していたが、昭和13年（1937）に各塩戸のかんすいを配管で一ヶ所に集めて製塩する。合同製塩（合同せんごう場）が行われるようになり（写真の2本煙突）昭和34年（1959）に廃止になるまで続いた。昭和34年の廃塩田は製塩法の白い革命と呼ばれる企業整備であった。

② 干拓し始めたころ



③ 干拓ができた現在



④ 川に捨ててあったごみ



⑤ 海に捨ててあったタイヤ



⑥ 海水浴場だったところにテトラポットがおかれ、泳げなくなってしまった。

